

2018年度 教師海外研修(ラオス)応募用紙

* 選択式の欄は、該当する選択肢の口を■に塗りつぶしてください。

ふりがな	性別	生年月日	年齢			
氏名 (ローマ字)	<input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> 男性	19 年 月 日	歳 (5月11日現在)			
*パスポートの記載どおりに記入ください。						
本人現住所 電話・FAX	〒					
自宅電話番号:	携帯電話番号:					
E-MAILアドレス:						
渡航時の緊急連絡先	氏名 (続柄:)	電話番号				
所属学校名 (正式名称)	担当教科					
	学年					
	職名					
所属先住所 電話・FAX	〒					
TEL:	FAX:					
JICA主催の 事業について	<input type="checkbox"/> 国際理解教育指導者養成講座 <input type="checkbox"/> JICA沖縄訪問 (<input type="checkbox"/> 児童・生徒対象 <input type="checkbox"/> 教員対象) <input type="checkbox"/> 国際協力出前講座 (<input type="checkbox"/> 研修員との交流 <input type="checkbox"/> JICAボランティア体験談 <input type="checkbox"/> ワークショップ) <input type="checkbox"/> 中学生・高校生国際協力エッセイコンテスト <input type="checkbox"/> おきなわ国際協力・交流フェスティバル					
趣味・特技	パスポートの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (残存期間20 年 月まで)				
健康状態(アレルギー・病気等)	過去の申込	海外渡航の経験				
研修参加にあたって、問題ない健康状態である。 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ある 回 (申込年:)	<input type="checkbox"/> ある 年 国名	<input type="checkbox"/> ない 目的			
*いいえと答えられた方は具体的にご記入ください。 (既往症など)	<input type="checkbox"/> ない	年 国名	目的			
外国語会話	○を付けてください	会話が堪能	意思疎通が可能	簡単な日常会話	できない	写真 (4×3cmまたは4.5×3.5cm) デジタル可 写真裏面に氏名を記入
	英語					
	語					
本応募用紙に必要事項を記入し、別途下記の①～④の回答をA4版2ページ以内に まとめた文書を同封の上、応募先(沖縄NGOセンター)に、郵送又は持参で提出してく ださい。応募締め切りは5月11日(金)です。 ①氏名 ②研修への応募動機と研修で学びたいこと ③これまで国際理解教育について自身で取り組んできたことやその成果 ④本研修後の授業実践計画						
上記の者が2018年度教師海外研修に参加することを推薦します。 (事前・事後研修への参加を認め、日程が重なる学校行事への配慮を行います。)						
学校名						
学校長氏名						

* 応募用紙に記載の個人情報は、管理に最新の注意を払い、本研修の実施にかかる諸手続き、研修後のモニタリングのために使用し、これらの目的以外には使用しません。これらの情報は、本事業の委託先に提出いたしますので予めご了承ください。

2018年度 教師海外研修 In Laos(ラオス)

踏み出す一歩!



募集×切
5/11(金)
必着



研修内容

- ①現地の生活・文化や JICAの青年海外協力隊等の国際協力活動視察
- ②現地の子どもへの簡易なミニワークショップや沖縄の紹介
- ③現地の子どもや教員との交流
- ④振り返りや授業・教材案の検討、現地報告書の作成、など

サバイデー
ສະບາຍດີ (こんにちは)



これまで100名以上の県教員が参加!



主催: JICA 沖縄国際センター
後援: 沖縄県教育委員会、外務省、文部科学省



研修のねらい

- ①海外研修や事前・事後研修の経験を活用して授業を改善する。
 - ②県内の中核人材として、授業実践結果を学校内外の教員等に共有するとともに、未参加教員もすぐに活用できる授業案・教材を開発する。
- * 上記は参加年度以降も継続的に行っていただくことが期待されます。



募集要項



(1)応募資格

- ① 沖縄県内の国公立、私立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校の教師及び教育委員会の指導主事。本採用2年目以降の方。
- ② 授業または課外活動で国際理解教育・開発教育を実践されている方、もしくは帰国後本研修の経験を継続的に実践に活かせる方。
- ③ 本研修の趣旨・目的を十分に理解し、国内で実施される事前事後の研修、海外研修の全日程に参加可能であること。
- ④ 教材づくり等、他の研修参加者と協働して研修に取り組めること。
- ⑤ 研修中の写真や開発した教材・資料などをJICAの事業・広報に活用することに同意できる方。
- ⑥ 原則として、応募締め切り時に満50歳以下であること。本採用2年目以降の方。
- ⑦ 参加に当たって所属長の推薦が得られる方。
- ⑧ 海外研修に際し、健康上の支障がない方。
- ⑨ 過去にJICAが実施している教師海外研修、ボランティア、専門家、国際協力レポーター(ODA民間モニター)等JICAから海外に派遣されたことがない方。

(1)募集人数：5名程度

(2)応募方法・締切、選考通知

必要事項を全て記入した所定の応募用紙と別途設問①～④の回答をA4版2ページ以内にまとめた文書を左記に郵送又は持参で提出願います。応募締め切りは**5月11日(金)**必着です。書類審査、面接審査の結果をまとめて5月下旬に文書にて通知いたします。
 * 書類審査合格者のみ、5月24・25(木・金)(15:00～18:30)の日程でJICA沖縄にて面接を行います。スケジュールは当方で決め、5月18日(金)までにご連絡します。離島にお住まいの方は電話面接になります。

研修の内容と日程

* 年間(平成30年6月～平成31年3月):渡航前の情報収集・準備、授業・教材案作成、授業実践、報告書の完成(参加者間で協力しつつ各自で遂行します)

日程 *時間は予定	内容(予定) 場所:記載がない国内はJICA沖縄
～第1回派遣前研修まで	各自での、パスポート取得、派遣国の情報収集、帰国後の授業実践アイデアや海外研修で収集したい情報等の検討
2018年6月16日(土) 10:00～16:00	第1回 派遣前研修 教師海外研修の概要・渡航前準備事項・参加者間役割分担の説明、派遣国の紹介、過年度参加者体験談、等
2018年6月30日(土) 10:00～16:00	第2回 派遣前研修 各種渡航に必要な書類の完成、帰国後の授業実践アイデアや海外研修内容検討
2018年7月21日(土) 10:00～16:00	第3回 派遣前研修 ※国際理解教育指導者養成講座と合同実施 国際理解教育参加型ワークショップ・教材の体験
2018年7月24日～8月4日 (11泊12日)	海外研修(派遣先:ラオス国)
2018年8月15日(水) 午前中	沖縄県教育庁における海外研修結果報告
2018年8月17日(金) 10:00～16:00	第1回 派遣後研修 ※国際理解教育指導者養成講座と合同実施 国際理解教育参加型ワークショップ・教材の体験
2018年9月15日(土) 10:00～16:00	第2回 派遣後研修 授業案・教材の作成
9月～11月各自学校の授業などで実践!	
2018年11月10日(土) 10:00～16:00	第3回 派遣後研修 授業実践進捗共有
調整中(11月中旬もしくは下旬) 土・日(9:00～18:30)	海外研修結果や実践進捗の発表、参加型ワークショップの実施 * 土日のおきなわ国際協力・交流フェスティバル内(場所はJICA沖縄を予定)。
2018年12月1日(土) 10:00～16:00	第4回 派遣後研修 ※国際理解教育指導者養成講座と合同実施 授業実践結果の報告・意見交換、今年度の振り返りや来年度への提言等
2019年1月19日(土) 10:00～16:00	授業実践報告書の初案提出、報告書作成に関する打ち合わせ
2019年1月31日(木)	授業実践報告書最終版の提出

- * 学習・報告テーマは「歴史や自然」「生活」「子ども」「世界で活躍する日本人」等が想定されます
- * 事前・事後研修、帰国後の授業実践・教材開発も行っています。

参加費用

<JICA負担>

海外研修への往復渡航費、海外旅行保険、海外旅行雑費(査証料、空港使用料のみ)、海外研修の公式プログラムに必要な交通費等、離島参加者の沖縄本島への往復渡航費・宿泊費(実費)

<参加者個人負担>

海外研修中の食費・宿泊費(実費、原則2名1室)、パスポート取得費用、予防接種代、追加保険の掛け金等(必要に応じて)、海外研修時の観光地等入場料、沖縄本島内での交通費、その他の支出



2017年度 海外研修の様子

お申込み・問合せ

(NPO法人)沖縄NGOセンター
 〒901-2211
 宜野湾市宜野湾3-23-52
 TEL:098-892-4758
 FAX:098-892-9908
 Email: onc@oki-ngo.org
 担当:上原

昨年度参加者の声

「教師海外研修」。特別支援学校(知的障害)小学部教員の私にとって、距離感のある言葉でした。しかし、この研修に参加して距離は縮まり、むしろ障害児理解と国際理解は一体だということが分かりました。ラオスまで足を運んで学ぶ意味は何か?「平和や」「豊かさ」とは?研修後も問い続けること、自分は何をすべきなのか?ということをおしえてくれた研修でした。
 (島尻特別支援学校馬天小学校分教室 橋本剛)

「世界と関わりたい」という気持ちであふれた生徒たち。ラオスの人々の笑顔、豊かな自然、魅力的な食べ物を通して、多面的・多角的な視点が持てるようになりました。さらには、独特の文化や歴史を知ること、幸せとは何か、私たちが先進国の立場でしなければならぬことはなにかを考えるようにもなりました。ラオスでの学びは生徒たちに還元できる素晴らしい研修です。この研修は衝撃的かつ刺激的です。ぜひ!メコン川で洗濯を。
 (名護市立名護中学校 前田安子)